No.
名紙 八幡日々 大正9年1月24日
名紙 八幡[illegible] 大正9年1月

▲うわさは事實 勞友會の

八幡製鐵所職工を以て組織せる勞友會の幹部某が最近燒ん[illegible]八幡市海岸通り某料理屋に出入し酒色に耽溺し居る噂既報し[illegible]が聞く所に依れば會長淺原[illegible]二十一日突如八幡署に召喚[illegible]何事か注意を受け嚴しき說[illegible]加へられたるが勞友會の內[illegible]關し本社の更に探聞する處[illegible]れば此程[illegible]

つて置け、然し我等の運動は之れが爲に中止するものに非ずと皆心の內には思つたやうであるが根が正直な勞働者の事故一時懷中が暖まると共に隙ほれらたるかの觀を呈してゐたのであつたところが之れは表面を粉飾する一時の鎭靜、丁度夕立の前の靜けさの樣なもので其れと前後して生れた彼等勞友會は盛んな

▲暗中飛躍

を試み會長淺原君は活動寫眞館其他劇場に於て勞働運動の宣傳に潑々吼と揚げたるより忽ち二千有餘の會員を抱擁するに至り其後今日では既に五千餘の會員を有し毎月十五錢宛の會費を徵收しゆく〳〵は之れに必要なる施設を爲し會員の啓發善導の途を講ずと謂ひ今や當地方に於ける有力なる一勞働團體として社會に認識せらるゝ樣になつた、然るに雇傭者側の方では勞働者が愈うして次第に目醒め來たつて吾れも〳〵と入會し勞友會の勢力が日を逐ふて增大しゆくを見るにつけ

▲心窃かに

面白からず思

れば今回勞友會は五千餘の若い血の燃ゆる職工を後楯に八幡製鐵所に向つて時間短縮、勞銀値上、住宅料支給の要求をしたとか、而して會長は兩三日前某所會合に臨み宣言して曰く、八幡製鐵所今日の狀態は甚だ同情に値ひすべき立脚地に在るが戰時中鐵價暴騰當時年に

▲何千万圓

の利益を揚げ役員達は何ヶ月といふ賞與金を貰つてポク〳〵者なりし際勞力を提供する職工は幾何の賞與金

[illegible]に探究せねばならぬのである[illegible]時代の良 風俗に背き公秩を紊亂せしめ而して會い現狀ご容れざる言動を敢ゐあしたゝ者は遂に是を臨斷せねばならぬが、然しながら徒に一學究としての自由を奮ひ學問の獨立を阻害せしむるが如き事ありてない。余は該問題の根基を爲し[illegible]

[illegible]たが、立派な義務を果し了せた。

昨年中、英國クロンダイクから約四十万磅の金を產出した。此の寶庫は創業以來、四千萬磅の貴重な金屬を提供したが、未だ今後も四千萬磅位は大丈夫、得られる見込である。

印度のチラパンチは「雨の都」として知られてゐる。雨の多いこと世界一で、年から年中、殆んど降り續けに降つてゐる。其の雨量は年に平均六四吋、即ち五十呎、一週間に約一呎の割合である。

▲一瀉千里

に加入[illegible]し以て製鐵所[illegible]れられざる時は[illegible]名一齊に罷業[illegible]ん事を決議せ[illegible]富日會員に對[illegible]の連判狀を取りたるがこれが爲め淺原會長は豫定の上京を中止し目下之が善後策を講じ製鐵所職工の氣勢俄然昂興し目下の動搖正に山雨來らんとして風樓に滿つるの概あり人心恟々たるものあり

●蒲團から 突出した 黒い手 全身眞黒々

一昨二十日午後三時頃下關市田中町の巡査派出所に這入り込み戶棚より蒲團を引摺出し高鼾で寢て居る一名の怪しの男あるを

[illegible]項は之を[illegible]會を切つた時[illegible]めの主謀者たる[illegible]對し一般會員[illegible]を開くや否やに[illegible]遂げ萬一會員[illegible]對する救助的精[illegible]に於ては淺原氏は[illegible]

[illegible]頭に立つ[illegible]先鋒となる旨聲[illegible]

[illegible]飛ばして許さ[illegible]橫暴を恨める群衆は[illegible]を振翳し四個の小隊[illegible]附の自動車を先頭に[illegible]普選の歌を高唱して[illegible]り步き午後二時散會

[illegible]勞友會主催となり來[illegible]に普選促進大デモン[illegible]練步くべしと云へる[illegible]町の手配をなしつゝ

の準備をなせる市會員及市民追々と參集して其の數約千名に達したる頃左の如き宣言をなせり

宣言

吾人は時代の羈絆を脫し政治的產業的將た社會的に一個の人格として自主獨立の生存權を主張す吾人の日常生活に最も甚大なる關係を有する參政權を獲得すべく[illegible]地位に立つ次第なるを以て自然[illegible]右二社より[illegible]

[illegible]當の反對を豫想せざるべから[illegible]現に郵船會社が先年カルカッ[illegible]航路を開始[illegible]